

徳島県治山林道協会

治山林道協会報

令和四年度 治山林道事業の予算の執行について

令和四年度政府予算における「林野公共予算」につきましても、令和三年度当初予算の百・一パーセントに相当する千八百六十九億円が認められており、これに令和三年度補正予算を合わせますと、令和三年度当初予算の百四十一・二パーセントに相当する二千六百三十六億円となっております。

また、県の令和四年度当初予算におきましても、災害列島対策として、県土強靱化を加速し、「活力ある地方」を創生するため、国の「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を積極的に活用し、令和三年度十一月補正予算と合わせた「十六ヶ月予算」として位置付け、公共事業を迅速かつ切れ目なく実施いたします。そして、県民の皆様の命と暮らしを守る「強靱な県土づくり」と、「地域経済の発展」を支え、「活力ある県民生活」を実現するための予算を編成しており、今後とも国の補助金や交付金の活用を努め、中山間地域における治山・林道事業を積極的に推進することにより、「強靱で活力と魅力にあふれる農山漁村の実現」に取り組んでまいります。

一 治山事業について

治山事業は、森林の持つ水源のかん養、生活環境の保全などの様々な公益的機能の維持増進を図るとともに、山地に起因する災害から県民の生命、財産を守る重要な県土保全政策の一つであり、中山間地域における生活環境の保全・形成を図り、安全で安心な生活を実現するうえで必要不可欠な事業です。

このため県の「十六ヶ月予算」につきましては、治山事業で二十六億五千六百九十九万二千元、林野地すべり防止事業で三億五千三百九十二万三千元であ

り、両事業を合わせまして、令和三年度「十五ヶ月予算」の九十九・四パーセントに相当する三十億五千六百一十一万五千円の執行を予定しています。

なかでも、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策や、「流域治水」と連携した治山対策の強化に取り組んでまいります。

なお、事業別の箇所数、予算額の詳細については、別表をご参照ください。

二 林道事業について

林道事業は、林産物の搬出だけでなく、森林の持つ多面的機能の発揮や中山間地域の活性化を図るための重要な基盤整備事業です。なかでも、県が取り組んでおります「スマート林業プロジェクト」の戦略目標となる「県産材の増産」を効率的に進めるためには、「林道を核とする複合的な林内路網の整備」が必要不可欠となっております。

また、南海トラフ巨大地震をはじめとする様々な自然災害に備え、「避難路・緊急輸送路を補完する道路」としても今後益々期待されているところです。

このため県の「十六ヶ月予算」につきましては、令和三年度「十五ヶ月予算」比百三・六パーセントに相当する二十七億九千八百三十八万三千元の執行を予定しています。

なかでも、木材輸送の効率化や防災機能の向上に向けた林道の開設・改良、林道施設の長寿命化に取り組んでまいります。

なお、事業別・県営・市町村営別の路線数、予算額につきましては、別表をご参照ください。

目次	● 令和4年度治山林道事業の予算の執行について … 1	● 第38回治山林道写真コンクール作品募集 … 10
CONTENTS	● ①治山事業について ②林道事業について … 2	● 令和4年度山地災害防止標語コンクール作品募集 … 10
	● 就任挨拶 徳島県農林水産部長 平井琢二 … 2	● お知らせ(第64回徳島県治山林道協会通常総会) … 10
	● 森林整備課長 田中勝也 … 3	● 令和3年度山地災害防止標語・写真コンクール … 11
	● 県人事異動 … 4	● 令和3年度全国森林土木写真コンクール … 11
	● 令和4年度入札・契約制度の改正について … 5	● 本協会の主な動向(1月～3月) … 11
	● 令和4年度治山林道事業関連新規制度について … 8	● 編集後記 … 11
	● お知らせ … 9	

1. 令和4年度 治山事業

(単位：千円)

区分	15ヶ月予算(A)		16ヶ月予算(B)				対比 B/A	当初予算 対比 D/C	備考
	R2年度補正(2月)	R3年度当初	R3年度補正(11月)		R4年度当初				
	事業費	事業費(C)	箇所数	事業費	箇所数	事業費(D)			
治山事業	1,156,000	1,610,999	22	803,000	55	1,848,692	95.8%	114.8%	
山地治山	1,070,000	1,304,741	22	803,000	42	1,724,552	106.4%	132.2%	
復旧治山	537,000	770,835	11	455,000	22	958,741	108.1%	124.4%	
予防治山		240,203			9	321,000	133.6%	133.6%	
緊急予防治山	348,000	250,030	10	294,000	9	374,936	111.9%	150.0%	
緊急総合治山	95,000	43,673					0.0%	0.0%	
防災林造成	90,000		1	54,000			60.0%		
機能強化・老朽化対策					1	32,754	皆増	皆増	
緊急機能強化・老朽化対策					1	37,121	皆増	皆増	
水源地域整備	86,000	252,213	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
奥地保安林保全緊急対策	86,000	252,213					0.0%	0.0%	
流域保全総合治山	0	0	0	0	1	25,111	皆増	皆増	
流域保全総合治山					1	25,111	皆増	皆増	
保安林整備	0	54,045	0	0	12	99,029	183.2%	183.2%	
保安林改良		54,045			12	99,029	183.2%	183.2%	
林野地すべり防止事業	173,000	84,239	4	159,000	3	194,923	137.6%	231.4%	
地すべり防止	173,000	84,239	4	159,000	3	194,923	137.6%	231.4%	
計	1,329,000	1,695,238	26	962,000	58	2,043,615	99.4%	120.6%	

(注) 1. 令和4年度当初予算は国の内示により変動する。

2. 令和4年度 林道事業

(単位：千円)

区分	15ヶ月予算(A)		16ヶ月予算(B)				対比 B/A	当初予算 対比 D/C	備考
	R2年度補正(2月)	R3年度当初	R3年度補正(11月)		R4年度当初				
	事業費	事業費(C)	路線数	事業費	路線数	事業費(D)			
森林基盤整備事業	244,830	2,456,600	6	250,040	51	2,548,343	103.6%	103.7%	
県営事業	124,000	1,587,456	3	97,640	17	1,625,320	100.7%	102.4%	
地方創生推進交付金		1,459,460			15	1,561,854	107.0%	107.0%	
森林環境保全整備事業(公共)	124,000	127,996	3	97,640	2	63,466	63.9%	49.6%	
森林資源循環利用林道整備事業	124,000	127,996	3	97,640	2	63,466	63.9%	49.6%	
市町村事業	120,830	869,144	3	152,400	34	923,023	108.6%	106.2%	
地方創生推進交付金		519,390			18	569,070	109.6%	109.6%	
農山漁村地域整備交付金		117,840			7	126,478	107.3%	107.3%	
森林環境保全整備事業(公共)	120,830	231,914	3	152,400	9	227,475	107.7%	98.1%	
森林資源循環利用林道整備事業	20,605	95,324	1	30,400	2	75,360	91.2%	79.1%	
山村強靱化林道整備事業		84,840	1	20,550	5	90,015	130.3%	106.1%	
林業専用道整備事業	100,225	51,750	1	101,450	2	62,100	107.6%	120.0%	
計	244,830	2,456,600	6	250,040	51	2,548,343	103.6%	103.7%	

(注) 1. 令和4年度当初予算は、国の内示により変動する。

就任挨拶



徳島県農林水産部長

平井 琢二



新緑の候、会員の皆様には、益々御繁栄のこととお慶び申し上げます。

このたび四月一日の人事異動により、農林水産部長を拝命いたしました。

治山林道事業はもとより、本県の基幹産業であります農林水産業の発展と競争力強化に向け、誠心誠意尽力して参りますので、皆様よろしくお願いいたします。

さて、本県をはじめ全国において、「驚異的なペース」で感染が拡大した新型コロナウイルス「第六波」は、減少に転じたものの、新たな「派生型ウイルス」の確認により、再び増加が懸念されるなど、依然として、予断を許さない状況が続いております。

皆様におかれましては、ワクチンの「三回目接種」や御家族ぐるみでの健康管理はもとより、地域における感染拡大防止に御協力を賜っておりますことに感

謝を申し上げます。

こうした状況の中、「人口減少の克服」に向けた県の「地方創生総合戦略・第二幕」では、「新型コロナウイルス」を踏まえ、大都市部の「感染症に対する脆弱性」によって高まった「地方回帰の機運」を逃すことなく、コロナ後を俯瞰した「価値観の変容」に即応していくことを明記しており、その実現に向け、今、県を挙げて、積極的に取り組んでおります。

一方で、世界的な気候変動に伴い、近年、「大規模な自然災害」の発生が全国各地で急増し、その被害の程度も「激甚化」の一途を辿っております。

昨年九月の県南部における「線状降水帯」の発生や、九州地方に大きな被害をもたらした「令和二年七月豪雨」など、毎年、記録的な豪雨による、河川の氾濫や土砂災害が全国各地で発生し、多くの尊い人命や財産が失われており、日本列島における「大規模災害」は「人口減少」と並ぶ国の最重要課題であり、「新型コロナウイルス」を含め、我が国は、まさに「三つの国難」に直面しています。

そこで、県の「令和四年度当初予算」では、「新型コロナウイルス」、「人口減少」、「災害列島」三つの国難打破に向け、「アフターコロナへの処方箋」となる「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」、「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を「国難対策」に組み込み、「ポストコロナ新時代」に向けた未来への取組みを加速する『新次元の分散型国土』創出・十六か月予算』として、「令和三年度十一月補正予算」、「令和三年度二月補正予算」と一体的に編成いたしました。

中でも、「災害列島対策」の中核となる公共事業予算としては、本県はじめ全国知事会からの度重なる提言により実現した「国土強靱化・五か年加速化対策」を積極的に活用し、昨年度に引き続き一十億円台を超える総額一十億五千六百億円とし、前年度十五

か月予算対比で三十四億円、五パーセント増と強化しております。

また、県単独維持補修費についても、総額八十八億円と、過去最大規模としたところであり、加えて、公共事業の「二層の平準化」と「執行加速」を図るための「平準化加速枠」百億円を設け、「地方創生を支える災害に屈しない『新次元の分散型国土』の創出」の取組みをさらに加速させ、県民の皆様方の安全・安心の実感に繋げて参ります。

とりわけ、皆様に取り組んでいただいている治山林道事業は、中山間地域における生活環境の保全や活性化に直結するものであり、本県経済を支える「社会基盤の整備」はもとより、迫り来る大規模災害の脅威を迎え撃つ「県土強靱化」、ひいては「地方創生の実現」に不可欠であります。

今後とも、県土強靱化及び地方創生の成果として県民の皆様にとつかりと実感していただけるよう、徹底した「県民目線・現場主義」のもと、市町村や地域住民の皆様と十分に連携を図りながら、これまでに以上に効果的かつ効果的な治山林道事業の推進に努めて参ります。

また、適正な森林整備の基盤となる「路網整備」を一層推進し、「森林環境譲与税」の有効活用により、吸収量の増大を図り、森林の多面的機能の持続的かつ高度発揮による「グリーン社会」の実現に向け、しっかりと取り組んで参ります。

こうした一連の取組みにつきまして、皆様方からのより一層の御支援と御協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、徳島県治山林道協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

森林整備課長

田中勝也



四月一日付けの定期人事異動により、森林整備課長を拝命いたしました。

本県の治山林道事業の発展のため、微力ながら尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

治山林道協会員の皆様には、日頃から本県の森林・林業行政はもとより、治山林道事業の推進に御理解と御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、近年「大型化する台風」や予測が難しい「線状降水帯」等による「豪雨災害」、今後三十年以内に七〇〜八〇%の確率で発生すると言われている「南海トラフ巨大地震」など、大規模災害の発生が懸念されています。これら災害による中山間地域の荒廃は、水源地の喪失や土砂の流出など下流域にも影響を与えます。そのため、災害に備える「事前復興」は急務で、「治山」施設の整備等ハード対策と共に、ひとたび災害が発生した時に災害復旧が迅速

に行える人材育成など体制整備、すなわちソフト対策も重要となっています。

また「林道」は、本県の豊富な森林資源である木材等を搬出し、県産木材を増産するために必要不可欠な基盤整備であることは勿論ですが、平時は地域の生活道、緊急時には避難路や迂回路として、複合的な機能を併せ持ち、「徳島県国土強靱化地域計画」においても重要な役割を担っております。特に昨年より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で木材の供給不足となり「ウッドショック」が生じていますが、これは県産材を増産するチャンスであり、林道整備の重要性はさらに大きくなってきております。

このような背景にある「治山林道事業」を強力に推進していくためには、事業を実施する中山間地域の再生と強化が必要です。過疎化や高齢化により、多くが限界集落となった中山間地域に対してどのような施策が有効なのか。地域のマンパワーの強化など基礎体力をつけるためにはどのようなことができるのか。私は、「人を呼び戻すこと」、そして「若者が安定した生活を送ることができ環境を整えること」が重要ではないかと考えます。これまで地元で頑張っており地域資源等を継承してこられた皆様に加え、コロナ禍で都会の生活から地方の生活に目を向けられたU・I・ターンの方々や、地元で育った若者が本県中山間地域で安心して暮らし、地域を活性化し、次世代を担って欲しいと強く願うところですが、そのためには、地域住民の生命と財産を守る事業等の実施にご尽力をいただいている建設業の皆様のお力は非常に大切であると認識しております。

そのような背景の中、昨年二月の補正予算でスタートした「防災・減災・国土強靱化のための五カ年加速化対策」をはじめ、施設の長寿命化や強靱化対策を推進するなど、今後とも積極的に予算確保に努めて参りますので、会員の皆様のお一層の御支援、御協力をお願いいたします。

結びとなりますが、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念して、就任のあいさつとさせていただきます。



県人事異動

(令和4年4月1日付け)

《 》は旧所属

◎農林水産部

部長

平井 琢 二

《消費者くらし安全局長》

◎農林水産部農林水産基盤整備局 ↓ 廃止

局長

田中 勝也

《鳥獣対策・ふるさと創造課長》

副課長

伊藤 岳

《スマート林業課課長補佐(公有林担当)(リーダー)》

面田 耕市

《西部総合県民局農林水産部(三好) 主査兼係長(森林整備担当)》

主任主事(森林整備担当)

都築 弘充

《西部総合県民局農林水産部(美馬) 主任主事(森林整備担当)》

松 下 俊 郎

《東部農林水産局(徳島) 課長補佐(森林整備担当)》

井川 恭一

《南部総合県民局農林水産部(美波) 課長補佐(林務担当)》

岩 切 浩一

《南部総合県民局農林水産部(美波) 主席(林業プロジェクト第一担当)》

蓮 田 和也

《南部総合県民局農林水産部(那賀) 主事(森林整備担当)》

坂 前 奈緒也

《西部総合県民局農林水産部(美馬) 主事(森林整備担当)》

武 市 誠

《新規採用》

◎東部農林水産局(吉野川)

主事(林務担当)

松下 亮太

《西部総合県民局農林水産部(三好) 主事(森林整備担当)》

◎西部総合県民局農林水産部(美馬)

課長補佐(森林整備担当)

藤 丸 佳典

《西部総合県民局農林水産部(美馬) 主査兼係長(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

山西 昭広

《西部総合県民局農林水産部(美馬) 主査兼係長(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

橋 本 翔真

《農林水産基盤整備局森林整備課主事(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

平 山 潮里

《東部農林水産局(徳島) 主事(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

鈴木 隼人

《新規採用》

◎西部総合県民局農林水産部(三好)

課長補佐(森林整備担当)

野 尻 徹

《西部総合県民局農林水産部(三好) 主査兼係長(森林整備担当)》

係長(森林整備担当)

山 部 隆雄

《南部総合県民局農林水産部(那賀) 係長(森林整備担当)》

主任(森林整備担当)

桑 田 悠司

《西部総合県民局農林水産部(三好) 主任主事(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

岡 本 七海

《南部総合県民局農林水産部(那賀) 主事(林業プロジェクト第二担当)》

主事(森林整備担当)

本 多 祥 梧

《新規採用》

◎南部総合県民局農林水産部(美波)

課長補佐(林務担当)

一 原 哲也

《東部農林水産局(徳島) 課長補佐(森林整備担当)》

◎南部総合県民局農林水産部(那賀)

南部総合県民局農林水産部(那賀) 次長(那賀担当)

島 村 雄三

《農林水産基盤整備局森林整備課副課長》

課長補佐(森林整備担当)

村 浪 彰英

《農林水産基盤整備局森林整備課課長補佐(森林整備担当)》

主任(森林整備担当)

亀 谷 遼

《東部農林水産局(吉野川) 主任主事(林務担当)》

主事(森林整備担当)

生 田 厚志

《東部農林水産局(徳島) 主事(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

山 田 咲月

《西部総合県民局農林水産部(三好) 主事(林業振興担当)》

◎治山・林道関係以外に転出された方々

保健福祉部長

森 口 浩徳

《農林水産部長》

政策創造部長

村 山 直康

《農林水産基盤整備局局長》

農林水産部付(徳島森林づくり推進機構派遣)

尾 形 幸彦

《農林水産基盤整備局森林整備課長》

東部農林水産局(徳島) 課長(林業振興担当)(リーダー)

西 岡 英樹

《東部農林水産局(徳島) 課長(森林整備担当)(リーダー)》

農林水産部スマート林業課課長補佐(造林・担い手担当)

古 野 幸司

《西部総合県民局農林水産部(三好) 課長補佐(森林整備担当)》

農林水産部森林整備課主査兼係長(林地保全担当)

福 田 誠司

《西部総合県民局農林水産部(美馬) 係長(森林整備担当)》

西部総合県民局保健福祉環境部(美馬) 主事(環境担当)

鎌 田 航大

《南部総合県民局農林水産部(那賀) 主事(森林整備担当)》

令和4年度 入札・契約制度の改正について

令和4年度の徳島県の入札・契約制度の改正について、治山林道工事に関係する事項の概要について報告します。

近年、建設産業は、人口減少時代を迎え、働き手の高齢化や若年入職者の減少などにより、深刻な担い手不足に直面しています。

このような中、地域の守り手となる建設産業が、引き続き、その使命を果たしていくためには、「働き方改革の推進」や「就労環境の改善」を図り、若者をはじめとする担い手の確保に取り組むなど、建設産業が健全に発展できる環境整備が必要です。

また、地域経済の好循環を拡大するためには、県土強靱化事業の迅速かつ円滑な執行に留意する必要があります。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、非接触・リモート型への働き方の転換が求められる中、「生産性の向上」を図るため、建設分野においてもDX（デジタル・トランスフォーメーション）の実装に向けた取組を加速する必要があります。

このため、令和4年度の入札・契約制度改正では、

1. 地域の守り手となる建設産業の健全な発展を
目指して
2. 県土強靱化の推進による地域経済の好循環を
目指して
3. 建設分野のDX実装を目指して

など3つの視点から、所要の制度設計及び運用の改善を行います。

なお、入札・契約制度改正は、令和4年5月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用することを基本としています。

1. 地域の守り手となる建設産業の健全な発展を目指して

【建設企業・技術者の適正な評価】

建設企業の格付け制度等の見直し

- ① 土木一式工事の格付け対象工事を拡大する。
・格付けの工事成績加算率の対象工事に四国地方整備局発注工事を追加する。
※令和4年度の格付けから実施
- ② 「工事請負業者の格付けを定める場合の主観点数算定要領」に、CCUS（建設キャリアアップシステム）登録企業を格付けで加算する。
・2か年分を審査（R4・1:1時点で加入…5点、R5・1:1時点で加入…3点）
※令和5年度の格付けから実施
- ③ 技術検定制度の改正に対応し、技士補を格付けで適正に評価する。
・若年労働者の雇用で技士補新規取得を加点する。
※令和3・4年度の取得を令和5年度の格付けか

ら実施

・経営事項審査の制度改正に対応し、1級技士補を技術力で加点する。

※令和4年度の格付けから実施

- ④ 子育てに優しい職場環境づくりを積極的に推進する企業で評価する。

・徳島県はぐくみ支援企業等の認証企業（R5・1:1時点で認定済…5点）
※令和5年度の格付けから実施

【働き方改革の推進】

建設分野への週休2日制の導入を加速

- ① 災害復旧工事等を除く全ての工事において、工事現場の一斉閉所日を設定する。
【令和4年度】毎月第2土曜日を一斉閉所日（目標…毎月1回以上）
【令和5年度】毎月第2・4土曜日を一斉閉所日（目標…毎月2回以上）
- ② 「担い手確保モデル工事」における週休2日の「発注者指定型」の試行対象を設計金額3千万円以上の災害復旧工事等を除く全ての農林土木工事に拡大する。
※令和4年4月1日以降に入札公告を行う案件から適用

2. 県土強靱化の推進による地域経済の好循環を目指して

【県土強靱化事業の迅速な執行】

1 受注機会の分散・余暇期間制度の拡充による執行体制の強化

① 施工者分割型入札方式（一抜け方式）の運用を見直す。

・同一工事区域における一抜け方式の分割数は2〜3を基本とし、当面の間、必要と認められる場合は、現場条件により適宜設定することができるとする。

※令和4年4月1日以降に入札公告を行う案件から適用

② 余暇期間制度に「任意着手方式」を追加する。
・落札者が自ら工事着手日を設定できる「任意着手方式」を導入する。

※令和4年4月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用

2 現場代理人及び主任技術者等の兼務要件の拡充

① 企業の施工体制強化のため、当面の間、特例監理技術者の兼務要件を緩和する。

・東部農林水産局又は各総合県民局の各局管内の2つの工事

・徳島県が発注する当初請負対象金額が2億円未満の工事、又は国・地方公共団体等が発注し監理技術者の兼務が認められている公共工事
・低入札工事、災害復旧工事や維持工事でないこと

※令和4年4月1日以降に入札公告を行う案件から適用

ら適用

② 建設業許可事務ガイドラインの改正に対応し、主任技術者等の配置要件を緩和する。

・経営業務管理責任者について、ICTの活用により、営業所等で職務に従事している場合と同等の職務を遂行でき、常時連絡をとることが可能な場合、専任を要しない主任技術者等との兼務を可能とする。

※令和4年4月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用

③ 鋼構造物維持修繕工事において、技術者の配置要件を緩和する。

・企業の施工体制強化のため、当面の間、監理技術者補佐について、開札日時時点で雇用関係にあることで足りるものとする。

※令和4年4月1日以降に入札公告を行う案件から適用

3 総合評価落札方式における評価等の見直し

① 「継続学習（CPD）」に係る評価基準を、当面の間、緩和する。

・有効期間…原則、過去5か年度及び当該年度の入札公告日まで

↓ 過去7か年度及び当該年度の入札公告日まで

・直近の単位取得単位…
前年度に単位取得がないものは評価しない。

↓ 前年度又は前々年度の単位の取得状況は考慮しない。

※令和4年5月1日以降に入札公告を行う案件から適用

② 優良工事表彰・優良建設技術者表彰の受賞実績を評価する。

・令和3年度に実施した「優良建設技術者表彰」の「若手建設技術者奨励賞（部長賞）」受賞者を総合評価で評価する。

※令和4年4月1日以降に入札公告を行う案件から総合評価で加算

・令和4年度に実施する「優良工事表彰」の「優良下請工事表彰」受賞企業（格付けB等級）を総合評価で評価する。

※令和5年4月1日以降に入札公告を行う案件から総合評価で加算

③ 「地域貢献度」の評価要件を拡充する。

・切迫する南海トラフ巨大地震をはじめ、激甚化・頻発化する大規模自然災害に備え、迅速かつ効果的な道路啓開を担う建設企業を適正に評価するため、地域防災力に係る配点を見直す。

※令和4年5月1日以降に入札公告を行う案件から適用

【就労環境の改善】

最低制限価格の見直し

① 公共工事の品質確保の観点から、最低制限価格、低入札価格調査基準価格等の算定率を引き下げる。（一般管理費等×0.68）

※令和4年5月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用

② 契約締結時に法定外労働災害保険の加入証明書等の提出を求める対象を、農林水産部発注の全ての工事に拡大する。

※令和4年4月1日以降に指名通知又は入札公告

を行う案件から適用

- ③ 受発注者が業務スケジュール等を共有する「スケジュール管理表」を作成する。

※令和4年5月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用

- ④ 提出書類の簡素化・標準化を図り、「工事関係書類等の適正化ガイドライン」を拡充する。

- ⑤ 地域実情を踏まえた積算対応を行う。

・主要資材（コンクリート類）の急激な価格変動に適切に対応するため、単品スライド条項の弾力的な運用を図る。

・山間部等の資材運搬経路が狭小な工事現場において、適正な工事価格を算出するため、「小型車運搬割増（碎石等）」の単価を設定する。

3. 建設分野のDX実装を目指して

【生産性の向上】

1 産学官連携により建設分野のDXを加速

「徳島県インフラDX推進協議会」を設立し、デジタル技術の普及・拡大による生産性の向上を図る。

2 非接触・リモート型の働き方を拡大

- ① 「情報共有システム（ASP）」を積極的に活用するため、「発注者指定型」の対象を設計金額5千万円以上の農林土木工事に拡大する。

※令和4年5月1日以降に入札公告を行う案件から適用

- ② 「遠隔臨場」及び「Web会議」の「発注者指定型」を実施する。

・「遠隔臨場」は設計金額5千万円以上の農林土木工事で試行する。

・「Web会議」は、設計金額1千万円以上の委託業務に適用する。

※令和4年5月1日以降に指名通知又は入札公告を行う案件から適用

3 建設業許可・経営事項審査の電子化

建設業許可、経営事項審査の電子申請システムを活用し利便性の向上を図る。

※令和5年1月から運用開始予定

4 建設産業への支援

【県内企業の活用推進と負担軽減】

1 県内企業への優先発注等を推進

① 「県内企業優先発注及び県内産資材の優先使用のための実施方針」に基づき県内企業への優先発注を推進する。

② 県内産資材調達を推進する。

③ 県内産出の原材料及び技術の優先使用を推進する。

2 講習会の実施等により建設企業を支援

① 入札等支援

・入札参加に必要な見積り、総合評価落札方式、施工体制等に関する基礎知識を習得するための講習会を実施する。

・県が公表する「発注見通し・発注情報」にPDFデータを追加する。

② 電子化支援

・電子納品に関する個別相談会等を実施するとともに、習熟度アップにつながる取組を推進する。

・市町村との電子入札システムの共同利用の拡大を図る。

③ 建設業支援

・建設業におけるDXを推進するため、平成長久館と連携し、経営者向けのトップセミナーや「Construction」を担う技術者を育成するICT技術講習会等、各種講習会を開催する。

・建設工事従事者の処遇改善、担い手確保を図るため、「建設企業のCCUS」の登録を支援する。

・建設企業が現場代理人等を適切かつ効果的に配置できるよう、「現場代理人及び主任技術者等設置マニュアル」の周知を図る。

・建設業BCPの策定支援及び認定企業に対するフォローアップを実施する。

・建設企業の負担軽減と県及び市町村の事務の合理化・効率化を図るため、申請窓口の県への一元化や申請書類の共有化を実施する。



令和4年度 治山林道事業関連新規制度について （「ゼロ国債」の導入）

① 趣旨

公共事業の事業量については、閑散期と繁忙期の差が激しい状況であり、技術者の減少が進んでいる中、限られた人材で効率的に事業を実施するためには事業量の平準化が必要であります。

円滑な事業の実施や担い手の負担軽減のため、治山林道事業において発注・施工時期の平準化に向けた「当初ゼロ国債制度」が導入されました。

② 内容

治山事業、森林整備事業（森林資源循環利用林道整備事業、山村強靱化林道整備事業、林業専用道整備事業）について、当年度に契約行為だけを実施し国庫支出を翌年度に行う「ゼロ国債」の導入を当初予算において措置されました。

③ 事業実施主体

県、市町村



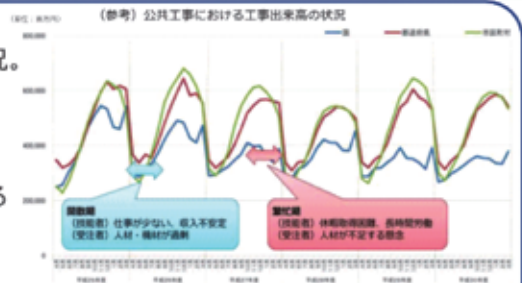
当初予算（森林整備事業（林道））における施工時期等の平準化（「ゼロ国債」の導入）

○課題

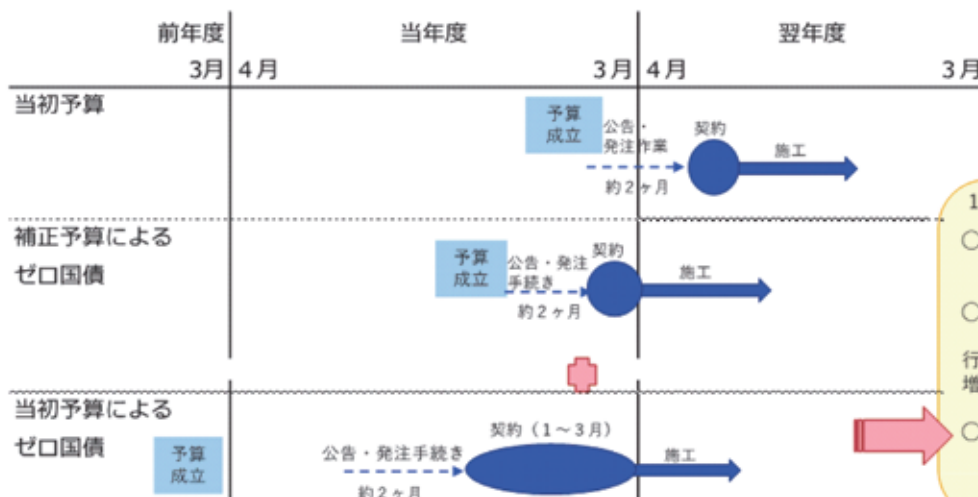
公共事業の事業量については、閑散期と繁忙期の差が激しい状況。技術者の減少が進んでいる中、限られた人材で効率的に事業を実施するためには事業量の平準化が必要。

○措置内容

4～6月期の閑散傾向の改善など発注・施工時期の平準化を図るため、当年度に契約行為だけを実施し国庫支出を翌年度に行う「ゼロ国債」の導入を、当初予算において措置。



○当初予算におけるゼロ国債設定・活用について（イメージ）



1月等の契約により、

- 受注者：人材・資材の効率的な配置
- 発注者：計画的な発注関係事務の遂行（年度末に向けた業務量の増大の緩和）
- 地域：早期の着工、完成、共用等が期待

お知らせ



令和4年度 施工管理技術基本研修会の開催について

昨年度開催した治山林道技術基本研修会の名称を改正し、施工管理技術基本研修会として、以下のとおり開催いたします。

日時：令和4年8月2日(火) 13時～17時

場所：メイン会場 清月屋敷
(美馬市穴吹町穴吹市ノ下100-6)
サテライト会場 徳島県建設業協会 那賀支部
(那賀町吉野字弥八かへ33-2)



研修内容

- チェーンソーの安全操作について
 - 地すべり対策基礎講座
- ほか

* 本研修会は、継続教育学習制度（CPDS）の対象で学習プログラム（4 unit）に登録されています。

令和4年度 治山林道技術研修会の開催について

今年度の技術研修会も、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、「三密回避」のため、以下のとおり4会場で開催いたします。

西部会場

日時：令和4年10月3日(月) 10時～17時

場所：メイン会場 徳島県建設業協会 三好支部
(三好市池田町マチ2425-1)
サテライト会場 清月屋敷
(美馬市穴吹町穴吹市ノ下100-6)



東部会場

日時：令和4年10月4日(火) 10時～17時

場所：徳島県建設センター
(徳島市富田浜2丁目10)

南部会場

日時：令和4年10月5日(水) 10時～17時

場所：徳島県建設業協会 那賀支部
(那賀町吉野字弥八かへ33-2)



研修内容

- 森林土木事業におけるドローンの活用
 - 土木技術者の原点と今後の対策セミナーⅧ
 - 労働安全衛生について
- ほか

* 本研修会は、継続教育学習制度（CPDS）の対象で学習プログラム（6 unit）に登録されています。

第38回

治山林道写真コンクール作品募集

【締め切り】令和4年5月27日(金)(当日消印有効)

主催 徳島県治山林道協会

治山林道写真コンクール・表彰

◀ 第37回最優秀賞



●最優秀賞 一点

賞状及び副賞(二万円相当の商品券)

●優秀賞 三点

賞状及び副賞(一万円相当の商品券)

●佳作 五点

賞状及び副賞(五千円相当の商品券)

写真テーマ

●写真内容

治山林道工事により設置された構造物とそれらを取り入れた風景。

又は森林の果たす役割、森林と人間とのかわり、森林と水辺の景観など。

●応募資格

県内に住所を有する、又は通学、勤務するアマチュア写真家の方。

●応募規定

■撮影場所

県内で撮影したものに限りです。

■作品の規格

カラーのキャビネ判(一一・七cm×一七・八cm)でプリントして、データ(五〇〇万画素以上)をCD-ROMもしくはメモリーに保存して添付する。また、作品ごとに応募票(自作可)を貼り付けて下さい。

■応募作品は未発表に限りです。応募作品の数は問いません。応募作品の返却は致しません。

■入賞作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

●その他

■入賞通知

令和四年六月

入賞者に直接通知するほか、「治山林道協会報」に発表します。

■審査

主催者が委嘱する審査員

作品・送り先

〒七七〇一〇九三九

徳島市かちどき橋一丁目二十九番地

徳島県森林協会内(二階)

徳島県治山林道協会

「写真コンクール」係

TEL 〇八八―六五三―三三二五

令和4年度

山地災害防止 標語コンクール 作品募集

主催 (一社)日本治山治水協会

① テーマ

山地災害の防止、森林や治山事業の効果、防災意識の高揚などを広く国民に呼びかけるもの

受賞作品

「将来を

見据えて進める

治山事業」

「森の木が

ぐっと根をはり

土砂防ぐ」

② 応募方法

郵便はがき等に作品や氏名、住所等を記載して郵送してください。

③ 締め切り

令和四年八月末日

④ 応募先

〒七七〇一〇九三九

徳島市かちどき橋一丁目二十九番地

徳島県森林協会内(二階)

徳島県治山林道協会「標語コンクール」係

TEL 〇八八―六五三―三三二五

お知らせ

第64回 徳島県治山林道協会通常総会

日時: 令和4年7月11日(月) PM 3:30~

場所: 徳島県建設センター(徳島市富田浜二丁目)



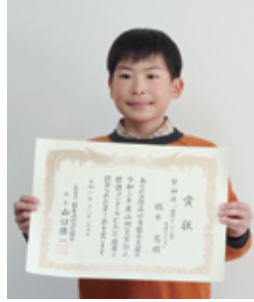
令和3年度 山地災害防止標語・写真コンクール

日本治山治水協会主催の山地災害防止標語・写真コンクールにおいて、本県から2名の方が受賞されました。誠にありがとうございます。

標語部門

神山町の神領小学校6年生橋本篤さんが全国第3席の奨励賞を受賞されました。橋本さんの作品は、昨年の熱海市で発生した土石流災害のニュースをみて森林の大切さを実感し、将来にわたって日本中が緑豊かであって欲しいとの願いが込められています。

橋本 篤さん



「植樹して、
小さな苗に
未来をたくす」

写真部門

徳島市川内町の公務員野口美佳さんが全国第3席の奨励賞を受賞されました。野口さんの作品は、溪流に設けられた治山堰堤が崩れ落ちた土石を止めている様子を撮影したものであり、山地災害を防止する治山事業への関心を持って欲しいとの願いが込められています。

奨励賞

野口 美佳さん



令和3年度 全国森林土木写真コンクール

全国森林土木建設業協会主催の森林土木写真コンクールにおいて、当協会から推薦した河野真一さん（神山町）の作品が全国第2席の優秀賞を受賞されました。誠にありがとうございます。

優秀賞

河野 真一さん



編集後記

今年の桜は、3月30日に満開を迎えた後、天気にも恵まれたため、比較的長い期間お花見を楽しめましたが、それから季節が進み、葉桜の新緑が目にも優しい新年度が始まりました。

さて、徳島県の令和4年度予算は、アフターコロナの処方箋となる「GX」と「DX」を3つの国難対策に組み込んだ「『新次元の分散型国土』創出！16か月予算」として、国の経済対策に即応した令和3年度補正予算と一体的に編成され、治山林道関連予算も会員の皆様のご支援ご協力のおかげで、昨年度に続き、必要額を確保することができました。

今後の課題としましては、「事業執行状況」にかかっておりますので、会員の皆様方より一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

また、今年度治山林道協会事業としましては、昨年度に引き続きCPDSの対象となる治山林道技術研修会及び施工管理技術基本研修会の充実を図るとともに、中山間地域の更なる活性化に向けた取り組みを実施して参りたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

編集責任者 井関 廣幸

本協会の主な動向（1月～3月）

1月

26日(木) 令和3年度第2回全国治山林道協会長会議 (東京都)
令和4年度民有林振興会通常総会 (東京都)

27日(木)

日本林業再生における協会活動等に関する研究会 (東京都)
令和3年度全国森林土木建設業協会常勤役員、事務局長等会議 (東京都)

31日(月)

令和4年度林道事業 国予算要望 (リモート会議)

2月

1日(火) 令和4年度治山事業 国予算要望 (リモート会議)

3月

4日(金) 令和3年度第2回施工委員会 (徳島市：建設センター)